

令和5年度富山県原子力防災訓練の実施

日 時

令和5年11月23日（木・祝日）

7:00～14:00

参加・協力機関

富山県、氷見市、砺波市、北陸電力、
関係機関等

合計 61機関 約600人

うち住民の参加者数 約200人予定



図上訓練

富山県防災危機管理センター

氷見市役所、志賀オフサイトセンター



実動訓練

- 一時集合場所
氷見市立海峰小学校、旧灘浦小学校、灘浦小学校
- 避難退域時検査場所
氷見市ふれあいスポーツセンター
- 避難所
柳瀬体育館（砺波市）

訓練の想定

志賀原子力発電所

R5.11.23

7:00 石川県志賀町で震度6強の地震発生
原子炉自動停止、外部電源喪失

志賀原子力発電所 警戒事態

8:00 高圧注水系機能が喪失

原災法第10条通報

施設敷地緊急事態

9:00 全交流電源喪失、注水機能喪失

原災法第15条通報

全面緊急事態

R5.11.25(想定)

10:25 全面緊急事態から48時間経過

放射性物質の放出・沈着



PAZ (概ね5km圏内)
予防的防護措置を準備する区域

UPZ (概ね30km圏内)
緊急防護措置を準備する区域

9:10 屋内退避指示
(UPZ全域)

10:55 一時移転指示
(氷見市藪田・宇波・女良地区等)

今年度の訓練のポイント①

1 氷見市ふれあいスポーツセンターで初めての避難退域時検査訓練

- 5つの避難退域時検査場所候補地のうち、唯一実施していなかった「氷見市ふれあいスポーツセンター」において、同訓練を実施
- 住民の自家用車での参加はこれまでで最大の100台超

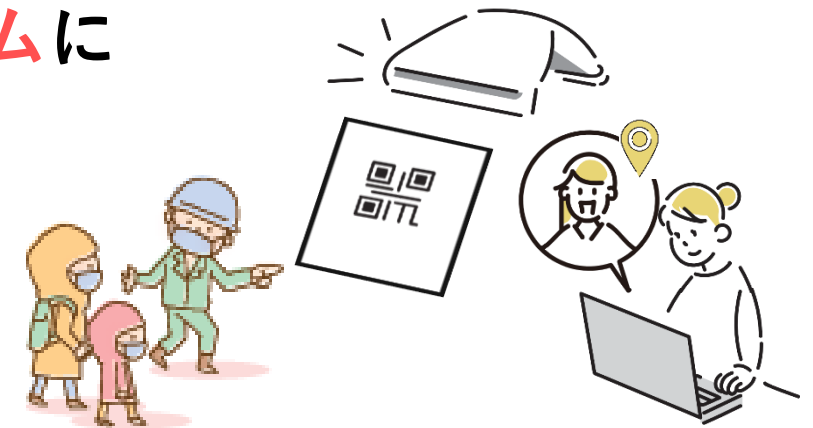


要員向け避難退域時検査動画
(YouTube富山県公式チャンネルで配信)

- 業務手順や測定機器の使用方法を紹介した動画を新たに作成、マニュアルを「見える化」、訓練参加要員の対応力を向上

2 デジタル技術を活用した住民広報・情報共有の促進

- **Yahoo!防災速報アプリ**やリニューアルされた**氷見市公式LINE**等を活用し、住民に向けて、事故の進展に応じた詳細な情報を伝達
- 新たに開発した**避難者移動状況確認プログラム**により、一時集合場所から避難所までの住民の**避難状況等を瞬時に関係機関で共有**
※R5年度サンドボックス予算活用



3 災害時応援協定に基づくバス・タクシーによる避難支援

- 応援協定に基づき、**県バス協会、県タクシー協会**からバス・タクシー（福祉車両）を一時集合場所や社会福祉施設へ**配車・運行**
- UPZ（30km）内に入る前に、**バス・タクシーの運転手に原子力防災資機材（防護服・線量計等）を受け渡し、運転手は装着**

